

八王子都税事務所長賞

『未来を生きてゆく私たちの暮らしと税金』

町田市立鶴川中学校 3学年 小川 茉白

皆さんは税金を身近に感じたことはありますか。私はこの前、学校で配られた教科書を使っていた時、教科書の裏側に、「この教科書は、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と書いてあるのを見つけて、「こんな身近に私たちが納めている税金が使われているんだ。」と思いました。

また、教科書だけではなく、公立学校の児童のパソコンや体育器具なども税金を身近に感じるものだと思います。

そして、スーパーやコンビニなどで買い物をする際などに見る、「消費税」があります。私が小学生の頃、駄菓子屋さんによく遊びに行っていました。ある日お会計をする時にお店の方に、「お金がたりないよ。」と言われ、なぜだろうと思い、母に聞いたことがあります。「消費税が上がって、お金を多く支払う必要があるんだよ。」と教えてくれました。

このように、人々の生活には、たくさんの場面で税金が使われている。納めていたり、人々は税金を身近に感じていると思います。そもそも、なぜ私たちの生活には税金が必要なのでしょう。

例えば、道路の整備や維持として、安全に車が通れるように道路を作ったり、修理したりする費用に使われています。また、学校や

病院の運営、警察や消防の活動など、私たちの安心・安全を支え、社会を守るために使われています。その他にも、ごみの収集や処理などにも税金が使われていて、私たちの住みやすい環境を保つための費用としても活用されています。

こうして改めて考えてみると、税金は、私たちの暮らしを支え、社会全体の公共サービスを維持するために必要なものであると分かりました。つまり、税金は私たちが安心して暮らすための重要な柱となっています。もし税金がなければ、混乱や格差が生まれ、不安定な社会になってしまう可能性があります。

これからの未来を生きてゆく私たちの暮らしと税金との関わりに考えをめぐらせると、より良い社会になるために、期待することがたくさんあります。

その中でも私は、持続可能な社会に向けた税制の取り組みや発展が、これからの社会にとって大きな役割を担うと考えます。現代社会は、環境問題、少子高齢化などの様々な課題があります。具体的には、環境に優しい行動を促す税制優遇や、子育てを支援する税制の活用が整ってほしいと思います。

私は、今回このような機会をいただき、今まで気にかけていなかった、私たちの暮らしを支える税について学びを深めることができました。これから先、望むことは、私たちの払う税金が、どのような形で社会に役立っているのか、子供から大人までより分かりやすい社会になること。そして、私たちも税に対して興味を持つことが、より良い社会を実現できるのではないかと思います。